

和歌山県の採卵鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (家きん国内21例目)

【概要】

- ・和歌山県和歌山市 採卵鶏 約4.6万羽
- ・簡易検査および遺伝子検査で陽性。
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

＜今年例年以上のペースで発生が続いています＞

※全国いずれの地域においても発生リスクがあります。

※小規模農場も例外ではありません！

※本病ウイルスを保有して飛来する渡り鳥や野鳥の糞により農場敷地内にウイルスが存在する可能性を念頭に

鶏舎内にウイルスを侵入させない対策が重要です。

＜家きん飼養農場における防疫対策＞

- ①鶏舎に出入りする際は、適切に消毒や長靴の交換を行う
- ②農場敷地内や鶏舎周囲の消毒を毎日行う
- ③小動物や野鳥等が農場内に近づかないような対策を講じる
- ④野生動物等が侵入しそうなルートを探し侵入防止対策を講じる
- ⑤衛生管理区域に入る際、適切なタイミングで専用衣服を着用する。
鶏舎ごとに専用長靴を設置、手指消毒及び長靴の消毒・交換等の適正な衛生管理を実施する
- ⑥長靴等の消毒を行う際は、その前に汚れを落とす。消毒薬は汚れた都度交換し、消毒薬が有効な状態で使用する
- ⑦長靴の交換の際は、交差汚染を防ぐため鶏舎外と鶏舎内で使用する長靴の動線が交わらないように注意する

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

農場周辺の高病原性鳥インフルエンザのウイルスが 非常に多くなっています！

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが
特に重要です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認をお願いします！
- 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認をお願いします！



◆ 飼養家さんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→

